

●三位一体後第六主日

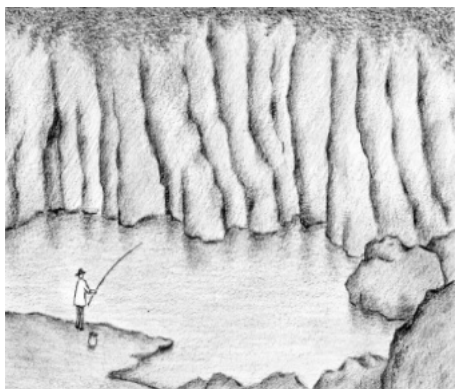
泉のほとり

今月の詩編「第百十一編」

主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

主の賛美は永遠に続く。



立ち上がり、歩きなさい

初代の牧師である佐伯儉牧師が「神さまを見ることはできないが、通られた跡はわかる。そこでは人が新しくなる」と言いました。その後、その事例を多く見て、わたし自身も体験してきました。

今日の箇所が伝える男の人も、同じ体験をした、わたしたちの仲間、先輩です。彼は毎日神殿の美しい門というところに座って物乞いをしていました。足や目の悪い人は神殿に入れません。決して入れない神殿の前に、彼は毎日座っていたのです。

その彼が、祈るために神殿に入ろうとしていたペトロとヨハネを見て、施しを乞いました。他の人とは違う何かを、二人に感じ取ったのでしょう。二人は彼をじつと見て「わたしたちを見なさい」と言いました。

ある人が、この二人の言葉は教会が言うべき言葉だと言いました。教会は人々に見てもらわなければならない姿や生き方を、神さまから与えられているからです。見ても見えなくなったら、教会はその存在意義を失うのです。

教会にはいろんな人が、いろんな理由で訪れます。悪事を働くのでない限り、教会はすべての人を受け入れます。そして求めるものをここで手に入れてもらいたいと思うのです。しかしながら教会はもっと大きくもっと素晴らしいものを与えられています。そして是非それを、多くの人の手に入れてもらいたいと願うのです。

足の悪い男が願ったのは、生活の足しにするいくらかのお金です。でも二人が与えようとしたのは、もっと別なもの。

のです。それを受ける備えが男にあるかどうかを知るために、じつと彼を見たのです。そして「金や銀はわたしにはないが、持っているものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」と言い、彼の右手を取って引き上げると、彼は立ち上がり、歩き出しました。

彼が立てたのは、立てるかも知れないと思ったからです。主イエスという方が力を与えてくださると信じたからです。言葉を信じて立ち上がりとする者が、その言葉の正しさを知るのです。

昔ある人がわたしに、いろんなことが不安で眠れないと訴えたので「わたしはイエスさまのものだ」と一〇回唱えて休みなさいと助言をしました。次の週に「先生、あれは効き目がありました。よく眠れるようになりました」と言い、間もなく洗礼を受けました。晩年、ガンを患って入院しましたが「命は神さまのものですから」と言って、全く死を恐れることがありませんでした。お見舞いをしたわたしと笑いながら話をして、二週間後に亡くなりました。心に弱さを抱えていた人でしたが「わたしはイエスさまのものだ」と言って立ち上がり、最後までその歩みを貫き通されました。

「ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」。悩むとき、困難を前にしたとき、わたしたちもこの言葉が必要としています。繰り返しこの言葉に励まされ、立ち上がらせられて、信仰の歩みを全うしたいと願います。

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 本日は日本基督教団平塚教会より北川一明牧師をお招きしています。説教と聖餐式、祝福を担当していただきます。

○ 昨日から台湾の高雄新興教会にて、コイノニアキャンプが行われています。スケジュールの概略を下記に掲載します。キャンプのためにお祈りください。

○ 次週四日(月)、五日(火)に夏季バイブルスクールを予定しています。

また、一二日(月)は通読会を行う予定です。ロビーと事務所前に内容の詳細を掲示しましたので、ご確認の上、どうぞご参加ください。

○ 本日、吉村和雄名誉牧師は韓国ハレルヤ教会とオンヌリ教会の日本語礼拝部で奉仕します。また今週はソウル説教セミナーをサラン教会で行う予定です。

《ぶどうの会より》

礼拝後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《祈りの会より》

本日、礼拝後一二時一五分から地下ホールで「祈りの会」を開催いたします。

《コイノニアキャンプ スケジュール》

・二六日(土)

一〇時五〇分 羽田空港発

一三時三〇分 台北松山空港着

台北松山空港から高雄へ移動

開会礼拝、歓迎会

・二七日(日)

主日礼拝

教会見学、各教会の最新報告

高雄観光

・二八日(月)

台南の太平洋教会へ移動

台南神学校見学

中台湾観光

・二九日(火)

中台湾の愛蘭教会見学

ユースキャンプ見学

閉会礼拝

・三〇日(水)

台北松山空港へ移動

一六時二〇分 松山空港発

二〇時〇五分 羽田空港着

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

（司・会）の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇百十一篇】

ハレルヤ。

わたしは心を尽くして 主に感謝をささげる

正しい人々の集い、会衆の中で。

主の御業は大きく

それを愛する人は皆、それを尋ね求める。

主の成し遂げられることは榮え輝き

恵みの御業は永遠に続く。

主は驚くべき御業を記念するよう定められた。

主は恵み深く憐れみに富み

主を畏れる人に糧を与え

契約をとこしえに御心に留め

御業の力を御自分の民に示し

諸国の嗣業を御自分の民にお与えになる。

御手の業はまことの裁き

主の命令はすべて真実

世々限りなく堅固に

まことをもって、まっすぐに行われる。

主は御自分の民に贖いを送り

契約をとこしえのものと定められた。

御名は畏れ敬うべき聖なる御名。

（司・会）

主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

主の賛美は永遠に続く。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「イエス・キリストを受け入れる」

聖書 使徒13章42〜52節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神の恵みに生かされて」

聖書 使徒14章8〜16節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

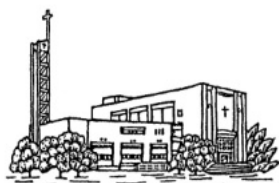
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 28番 276番

説教 「聖霊に逆らう者、満たされる者」

聖書 使徒7章51〜60節

説教者 宮間彰広兄





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 19番 532番
説教 「自分を尊敬できて嬉しい」
聖書 箴言20章27節(旧約 P.1017)
司式 宮間 彰広 兄
聖餐司式 北川 一明 牧師
説教者 北川 一明 牧師

前奏曲「おお幸いなる光よ、三位一体よ」J.P.スウェーリン

○讃美歌19番

1. みこえきくとて みまえにつどいぬ
あまつみおしえ ゆたかにたまえや
こころもわが主と ひとつに合うまで
2. 知恵とさとりは くらきにとぎされ
みたまのちから うくるによしなし
わが主よ みひかり とく照らしたまえ
3. さかえの主なる ひかりのひかりよ
われらのくちと こころをひらきて
いのりとほめうた ささげしめたまえ

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○讃美歌532番

1. ひとたびは死にし身も 主によりていま生きぬ
みさかえのかがやきに つみの雲きえにけり ※
※(くりかえし)
ひるとなく よるとなく 主の愛にまもられて
いつか主にむすばれつ 世にはなきまじわりよ
2. 主のうけぬこころみも 主の知らぬかなしみも
うつし世にあらじかし いずこにもみあと見ゆ ※
3. ひるとなく よるとなく 主ともにましませば
いやされぬやまいなく さちならぬ禍もなし ※

聖餐曲「ラルゴ」(音楽の捧げものより) J.S.バッハ

後奏曲「まごころ持て仰ぎまつらん」L.レーン